

スウェーデンとイタリア交通ルールと実態

ChatGPT:

スウェーデンとイタリア、同じヨーロッパでも交通文化や安全意識にかなり違いがあります。

SE スウェーデン

・ 安全重視の文化

世界的に有名な「ヴィジョン・ゼロ(Vision Zero)」を 1997 年に導入。

→ 交通事故死者をゼロにするという政策で、道路設計・車両安全・速度管理を一体化。

・ 速度制限

- 市街地:30~50 km/h

- 郊外:70~90 km/h

- 高速道路:110~120 km/h(場所によっては 100 km/h に制限)

・ 交通マナー

- シートベルト着用率はほぼ 100%。

- 飲酒運転は極めて厳罰。許容アルコール濃度は 0.02%と世界最低レベル。

- 歩行者優先が徹底されており、横断歩道では必ず車が止まる。

・ 環境意識

EV 普及や公共交通利用の促進が進み、都市部では自転車専用道も整備。

IT イタリア

・ ルールより「流れ」

イタリア人は運転に積極的・攻撃的で、「標識より周囲の流れを読む」傾向が強い。

- 赤信号や一時停止で止まらないケースも比較的多い。

- 追い越しや車線変更もアグレッシブ。

・ 速度制限

- 市街地:50 km/h

- 郊外:90 km/h

- 幹線道路:110 km/h

- 高速道路:130 km/h(条件が良ければ 150 km/h まで試験的に認める区間あり)

・ 交通マナー

- シートベルトやヘルメット着用は義務だが、守らない人も少なくない。

- 飲酒運転は罰則があるが、北欧ほど厳しくはない。

- **環境意識**

ZTL(交通制限ゾーン)を都市部で導入し、旧市街には車の流入を規制。

ただし車社会的な生活習慣が根強く、排ガス規制でも北欧より遅れ気味。

👉 まとめると：

- スウェーデンは「法律を守ることが文化」、環境・安全の両面で厳格。
- イタリアは「臨機応変・流れ優先」、ルールより人間的な判断が強く働く。